

れた。県の前島教育長、上田知事も結果を公表すべきとの見解だが、教育委員会は公表についてどう考えるか。

答 このテストは、児童・生徒の学力や学習の習熟の程度を調査・分析し、教育指導や学習状況の改善に役立てるのから、テスト結果の数値公表は行わず、市全体の調査結果の内容を公表していきたい。



家庭学習のすすめ

労働環境

「公契約条例」

栗原 二郎
(日本共産党)

問 市議会では、全会一致で、「公契約法の制定を求める意見書」が可決されている。

しかし、公共事業の受託・受注競争の激化により、低価

格での契約が行われ、その結果としてサービスの質の低下やそこで働く労働者の労働条件の悪化や低賃金を招き、「官製ワーキングプア」と呼ばれる社会問題となっている。

答 国土交通省も、「全産業と比べて、賃金の下落率が大きい」、「男性労働者の比較では、全産業よりも26%低い水準」、また、「建設投資の減少に伴うダンピング受注の激化と、下請けへのしわ寄せによって、技能労働者の賃金も低下している」と指摘している。

問 公契約法・条例の要の所は、「労働者等の賃金」を定めた「労働条項」であるが、同条例の必要性と認識については。

答 公契約条例は、公契約に係る業務の質の確保及び公契約の社会的な価値の向上を図るため、公契約に係る業務に従事する労働者の適正な賃金及び労働条件の確保を受注者等に義務づける内容であると認識している。

公契約条例の必要性と積極的な検討、労働者の賃金や労働条件が適切に確保されることは大変重要と認識しているが、一自治体で解決できるも

のではなく、国が公契約に関する法律の整備の重要性を認識し、速やかに必要な措置を講ずるべきものと考えており、今後とも国・県、他市の動向を注視していきたい。

問 総務部の法規担当者も含めて条例制定に向けて積極的な勉強と検討をする必要があると思うがどうか。

答 研究会の設置についても国等の動向を注視しながら見極めていく。

問 設計労務単価が上昇した、平成25年度の公共工事労務単価の運用と対応は。

答 新労働単価で再積算し発注。市として通知は出していないが、各建設業団体にも通知されており、しかるべく措置されていると判断している。

ごみ処理施設

行田市・鴻巣市・北本市の広域ごみ処理建設計画

石井 直彦
(しんりよく会)

問 ごみ処理施設の広域化は熱資源・雇用などさまざまな

利点が今後発生してくる。焼却場は迷惑施設である、

または熱も資源であるのどちらのスタンスでこの申し入れを受けて計画しているのか。

答 ごみ処理施設は、ごみ焼却に伴う排出ガスによる周辺地域の環境への負荷や収集車による交通量の増加など、周辺地域に少なからず負担が掛かることは認識している。

問 小針市内の行田市焼却場の跡地及び建設予定地の利用について、どのように考えているのか。

答 新ごみ処理施設が稼動するまでには相応の期間が必要とされることから、それまでの間は小針クリーンセンターと行田市粗大ごみ処理場にてごみ処理を行う必要がある。

小針にある建設予定地や現在の処理場の跡地については、市民の声を十分生かした土地利用を行っていきたい。

問 環境の悪化や余熱利用などの問題、また、建設予定地の問題など、総合的に判断して、行田市、北本市のために鴻巣市が受入れをしてくれると判断したのか。

答 広域ごみ処理施設を鴻巣市に設置することについては、3市でのごみ処理広域化を進めることは大前提であるとの考えのもとに、地理的条件を鑑み、3市の中心であり、鴻巣市内に設置することに合意したものである。

問 「その他の主な質問」
○市長のマニフェスト

なお、ごみ処理施設については、周辺の地域の方々にならず負担が掛かるものと認識している。

市議会を傍聴してみませんか

議場は市役所の3階にあり、50人分の傍聴席が設けられています。傍聴人受付簿に住所・氏名を記入するだけでなたでも傍聴できます。

詳しいことは市議会事務局までお問い合わせください。

☎553-1550(直通)